

九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成22年4月12日)

開催日及び場所		平成22年3月18日(木曜日) 農政第4会議室			
委員		中野芳輔(大学名誉教授) 米澤和彦(大学学長) 川野由紀子(会社監査役) 内田光也(弁護士)			
審議対象期間		平成21年10月1日～平成21年12月31日			
審議対象案件		332件 うち、1者応札案件31件 契約の相手方が公益法人等の案件5件			
抽出案件		10件 うち、1者応札案件2件 (抽出率3%) (抽出率11%) 契約の相手方が公益法人等の案件2件 (抽出率13%)			
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		4件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名 競争	公募型指名競争		0件
			工事希望型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
		随意契約		0件	
	業務	一般競争		0件	
		指名 競争	公募型競争		0件
			簡易公募型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		0件
		随意 契約	公募型プロポーザル		0件
			簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			標準型プロポーザル		0件
			その他の随意契約		0件
	物品・ 役務等	一般競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名競争		0件	
		随意契約(企画競争・公募)		1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件1件	
随意契約(その他)		0件			
(特記事項)					

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>I 平成21年度第3・四半期入札方式別発注状況について 意見・質問なし</p>	
	<p>II 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契約について</p> <p>1. 工事 (1) 筑後川下流白石平野（一期）農業水利事業白石平野揚水機場建設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案評価点の内訳には3項目有り、それぞれ15点、0点、欠格で、全ての業者が優れた提案であったため、全て40点になっているが、満点は45点ではないのか。 ・入札順位1位と2位は、入札価格100万円の違いで決まったということでしょうか。 ・今回の結果では技術者ヒアリング評価点が満点の者が落札しているが、満点以外の者は、ヒアリングで現場技術者に若干の懸念があると判断されたと思われるが、そのような者が落札した場合には工事請負に当たり何らかのフォローアップを行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3項目目のひび割れ対策等、コンクリートの品質向上のための工夫は満点が10点であるため、3項目合わせて40点満点となっています。 ・そのとおりです。 ・技術者ヒアリング評価点については、加点法で評価しているため、満点以外の者についても懸念はありません。なお、評価結果については公表を行っており、点数が低かった業者から、どこが悪かったのか問い合わせがあれば、説明を行っています。
	<p>(2) 平成21年度筑後川下流左岸農地防災事業昭代3号線（セツ家上工区）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業評価、技術者評価の満点は5点か。 ・この入札執行調書については、評価点でかなりの差がついたことが、入札結果に大きく影響しているのが特徴か。 ・施工計画が0点の者が落札しているが、0点というのは、どのような評価なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両方とも満点は10点です。 ・そのとおりです。 ただし、本件は規模の小さな工事であるため、大型工事に比べれば影響する技術評価の点数が低めに設定されています。 ・今回の課題は、排水路工事における周辺住民への配慮であります。評価の基準は、優れた工夫や提案が見られる場合が満点の4点、工夫や提案が見られる場合が2点、工期設定や実施手順が概ね適切な場合は0点としています。 加点法により評価を行っていますので、0点の業者の施工計画が不適切ということではありません。

	意見・質問	回答等
<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>(3) 平成20年度筑後川下流農業水利事業幹線水路佐賀西部高域線(東分下流工区)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札となった理由として技術者が足りない業者が多かったとのことですが、この時期は、あちこちで工事を行っているのか。 ・ 落札率が高いが、この種の工事は、業者が積算して価格をはじきやすいものなのか。 ・ 1者応札であるが、参加者は競争相手が居ないことは知っているのか。 ・ 2回目の応札では、参加者が1者であることが分かるのか。 ・ 最低価格を入札した者のみに、最低価格であることを連絡するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月頃になると他の工事でも1者応札が増える傾向にあります。 ・ 比較的、積算しやすい工事だと思われます。 ・ 参加業者は、1者応札であることを分かりません。 ・ 電子入札で行っているため、2回目であっても参加者が1者であることは分かりません。 今回の場合は2回目の応札を求めるため、参加者へ1回目の最低入札価格を通知しますが、他の参加者が居ないかは分かりません。 ・ 1回目の最低価格を全ての入札参加者へ連絡します。 2回目の入札では、1回目の最低価格以上の応札は無効となります。
	<p>(4) 旧鹿児島農政事務所地域第二課庁舎解体工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落札者はなぜ、こんなに安い価格で出来るのか。積算が難しいのかもしれないが、一番高い業者は倍くらいの金額となっている。 ・ 業者間の金額に開きがあるが、見積が難しいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低入札であったため、調査を行っているが、当該業者は自社保有の機材、車両等を使用できるためリース料が削減できること、また、解体専門業者であり、九州で唯一アスベスト処理の溶解炉を持っていることや、杭引き抜き費用も協力業者とのタイプアップで単価を抑えることが出来たことから当該金額での応札となったものです。 この調査により、当該契約の内容に適合した履行がされると認められたため、契約を行っています。 ・ 解体工事については件数も少ないため、予定価格の積算に、参考見積等を使用していることから、予定価格の推測は単価が公表されている他の工事より難しいかと思われます。

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>・ 予定価格には機材、機械のリース料等が入っているのか。</p>	<p>・ 機材、機械については損料として予定価格に計上しています。</p>
	<p>(5) 平成21年度筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業山脚導水路(下大町地区)農地復旧その3工事(第1回変更契約)</p> <p>・ 変更というのは前の工事が終わってから新たに工事を行うのか。</p> <p>・ 暗渠排水の施工を行っているが、施工前に排水不良状況の確認は行っているのか。</p>	<p>・ 工事の途中に変更すべき事象が生じましたら、契約書を交わさずに、打合せ簿というものを業者と役所側で取り交わし、工事は順次進めていきます。</p> <p>最後に精算行為として、変更見積を行っています。</p> <p>・ 工事前の農地の状況を確認し、必要と判断した箇所について施工しています。</p>
	<p>(6) 平成20年度都城盆地農業水利事業2号幹線水路他(周辺整備)工事</p> <p>・ 指名競争で辞退があり、1者しか残らなかった場合にはどうしているのか。</p>	<p>・ 指名競争で1者になった場合は取りやめになります。</p> <p>一般競争の場合は広く公募していますので、それ以上の参加者は見込めないと判断し、1者でも入札執行しますが、指名競争の場合はこちら側で選定していますので、他にも参加できる者がいるかもしれないという判断です。</p>
	<p>2. 業務</p> <p>(1) 平成21年度国営造成水利施設保全対策指導事業西国東干拓地区機能保全計画検討業務</p> <p>・ 技術提案書審査における評価対象・項目、評価の着眼点は、提案者に開示されているのか。</p> <p>・ 提案される業者が事前に現地調査を行う際、自由に行えるよう農政局は便宜を図っているのか。</p> <p>・ 提案書の評価には専門知識が必要だと思うが、少なくとも3名程度で行っているのか。</p>	<p>・ 開示しています。</p> <p>・ 各自、自由に行ってもらいます。</p> <p>・ 本件については、3名で行っています。</p>

	意見・質問	回答等
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	(2) 平成21年度徳之島用水(二期)農業水利事業南部調整池3号配水路実施設計業務 意見・質問なし。	
	3. 物品・役務等 (1) 鹿児島農政事務所電話交換設備更新 ・落札価格が半値以下で安い、どうか。 ・機能テストは行っているのか。	・低入札価格調査対象外の案件であるため、推測になりますが、事務機器関係の場合には機器導入後の点検や保守等も見込めることや、契約実績や顧客拡大等を考え、非常に安価な応札がされることもあり、今回の場合もそのようなケースではないかと思われます。 ・行っています。
	(2) 平成21年度九州農政局直轄事業海岸保全施設検討業務委託事業 ・本件は1者しか提案者がいないが、同種事業の経験等を求めているのか。	・公募条件では同種業務の実績等を参加条件にはしていません。 提案書の評価では実績に応じて最大15点の点数をつけていますが、開示している評価項目等を確認して、参加を見合わせた業者もいると思われます。 また、推測ですが、500万円程の業務であり、業務に精通していない者が経費を抑えて提案することが難しかったのではないかと考えられます。
	Ⅲ 再度入札における一位不動状況について 意見・質問なし。	
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	Ⅳ 指名停止について 意見・質問なし。	
	Ⅴ 入札談合情報について 意見・質問なし。	
		なし。
	[これらに対し部局長が講じた措置]	なし。

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所用の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人又は公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。